

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	発達支援センター　めだか園
------	---------------

公表日 2025年　3月　31日

利用児童数 4 2 名

回収数 3 3 名
回収率 7 8 . 5 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されている と思いますか。	29	4			・お休みが多くて人数が少ない時と欠席なし の時との人数のばらつきがあり、多い時は窮 屈そうで先生が総出の時も対応が大変そうだ など感じる場合があります。 ・もう少し広ければ、遊びや体操の時など思 いっきり動けるのにな…と感じています。	・適切な人数での教室運営となるよう工夫 し、十分な活動スペース確保に努めます。ま た、参加人数にあわせて、遊具の内容に配慮 し、危険がないよう環境等の工夫を心がけま す。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	32	1				・利用人数に応じた職員を適正に配置してい ます。今後も適正な配置に努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環 境になっていると思いますか。また、事業所の設備 等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	2		2		・こどもの配席を工夫する、絵カード等を用 い視覚的に伝える、活動内容に合わせ空間を 仕切る等、こどもに分かりやすい環境になる 配慮ようしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、こども達の活動に合わ せた空間となっていると思いますか。	32	1				
適切な支 援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思いま すか。	27	3	2	1	・言語聴覚士や理学療法士の先生の来園回数 がもう少し多くて相談しやすいといいなと感 じます。 ・言葉が話せないので専門的な支援が受けれ てはいない。結局かなり離れている柏崎の病 院まで通っている。少しでも近くでと思い上 越で支援を受けられないかと思ったが受給者証 が使えないとかで希望の支援をしてもらえな い。	・言語聴覚士等の来室回数を増やすなど、専 門性のある支援に努めます。 ・保護者の皆様と相互理解を図り、特性に応 じた支援になるように一層努めます。 ・受給者証の利用について、丁寧に説明しま す。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、 事業所の提供する支援内容とあっていると思いま すか。						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニー ズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援 計画（個別支援計画）が作成されていると思いま すか。	30	2		1		・保護者の皆様と相互理解を図りながら作成 するよう努めます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支 援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容 からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、 その上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	29	1		3		・個別支援計画書に設定しています。 ・ガイドラインについてご理解いただけるよ うに、利用契約時にガイドラインの説明書配 布と説明を行っています。また、継続通室の 保護者の方にも、年度初めに配布していま す。 ・お子さん一人ひとりの状況に合わせて支援 内容を考え、支援を行っております。個別指 導計画の説明や振り返りの際、わかりやすく お伝えできるように努めます。また、その日 の活動をみて、支援方法等、不明な点があり ましたら、職員にお声がけください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	28	3		2	・支援計画に沿っていると思います。	・計画をもとに、毎回の支援内容を設定して います。計画説明の際、具体的な支援内容を 説明いたします。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。	22	7	1	3	・固定化することで同じことを繰り返し経験 し、習得していくというメリットもあると思 いますが、その中でちょっといつもと違う取 り組みも入れると、環境の変化に弱いお子さ んにはよい刺激となるのかなと思います。	・繰り返し行うことを目的とするところは大切 にして、内容は参加児の支援計画や当日参 加された児の状態を考慮し、日々工夫してい ます。 ・活動の流れが同じものを繰り返すことの意 味について、保護者の皆様にご理解いただ けるように説明を行います。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その 他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	8	4	6		・保育園、幼稚園に通園しながら、めだか園 に定期的に通園している児が多いため、めだ か園への通室以外で交流の機会がある児が多 いと判断しています。 ・就園前の方には、子育て支援センターの毎 月の行事予定を掲示し、活動紹介をしていま す。今後も情報発信に努めます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がありました か。	33					・運営規定、利用者負担の説明は、登録時に 行っています。今後も丁寧な説明を心がけま す。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説 明がなされましたか。	33					・今後も丁寧な説明を心がけます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修 会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	3	2	9		・めだか園主催で、ペアレントトレーニング 講座を開催しており、対象の方にはご紹介し ています。 また、臨床心理士の個別相談の中で、保護者 の方にペアレントトレーニングの手法を用い た対応方法の工夫をお知らせしています。今 後も研修会や情報提供の機会を発信してい きます。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	6	1		・課題や問題点はもちろんですが、成長している部分もお伝えしていただけると保護者としても安心して長く通えるのではないかなと思います。 ・言葉がでてきた、お友達と遊べるようになった等、帰りの時等に声をかけていただいています。	・お子さんへの支援を保護者の方と共有していくことは活動を進めていくうえでとても重要です。課題だけでなく、お子さんの成長をお伝えし、共に喜んでいけるように努めています。また、日ごろからお子さんの様子で気になることがありましたら職員にお声がけください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	3				・面談については、半年ごとに行っていますが、それにかかわらず対応いたしますのでお声がけください。 ・今後も引き続き保護者との面談を定期的に行います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	2		1	・子どものことはもちろん、私自身の悩みなども親身になって話を聞いてくれています。助かっています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	6	6	16		・めだか園として、父母の会（保護者）はありません。 ・観察室の人数もなるべく多くならないよう対策にご協力いただいておりますが、お子さんの活動の妨げにならない程度に保護者同士の交流の機会としてください。 ・市内にある保護者の会「くれよんの会」の紹介ポスターと毎月の便りの掲示を行っています。今後も会の紹介を行います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	2		4		・今後も保護者のご相談に迅速に対応します。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	2	1	3		・保護者の皆様と相互理解を図れるように一層努めます。
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	5	5	14		・市のホームページに教室や相談の内容紹介を掲載しています。 ・自己評価結果については、市ホームページ及び保護者へ公表しています。 ・全保護者には4月に便りを配布し、職員紹介、事業の概要、緊急時の対応等についてお知らせしました。 ・めだか教室（3歳児未満児対象の教室）には、毎月めだか園便りを配布し、行事や育児情報を紹介しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1		3		・個人情報の取り扱いには十分注意しておりますが、今後もより一層注意していきます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	4	2	9	・めだか教室では避難訓練があったが、さくらんぼ教室ではなかった。月2回なので時間的には難しいことと思います。	・避難訓練はめだか教室で年2回実施しています。 ・年度初めに保護者の皆様に対して、避難場所、避難経路について便りでお知らせしました。年度途中利用者にも利用契約の説明と合わせて、チラシによる避難場所、避難経路の説明をしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	4	2	15		・職員の指示で避難を行います。保護者も一緒に避難していただきます。また、避難時は職員がサポートします。ご心配なことがあればお声がけください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1	2	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	5	1	10		・現場での速やかな説明となるよう努めています。また、体調が悪そうな様子があれば、あらかじめ保護者の方に確認しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32	1				・安心して通園できるよう努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	4	1		・当初は嫌がっておりましたが、中頃から徐々に慣れてきたようです。	・今後も楽しく通園できる施設になるよう心がけます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	4			・園長先生より、観察室にてめだか園でのひとつひとつの活動の目的や現状、子供の様子等をお話しいただいております。通い始めた時は、そういった説明がなく何のためにこの活動をしているのかや、必要性が分からないことがありました。これから始めて通う保護者や支援が必要と思われる親子に継続して通園してもらうためには特に必要なことなのではないかと思います。 ・当初嫌がって泣く姿を見て「この負荷を背負わせる必要があったのか」と悩んだこともありましたが、さすがに先生方もとても辛抱強く丁寧に接してくださり、回を重ねるごとにお友達とも仲良くなり、何より本人も落ち着いていきました。隔週での通園は、仕事をしながらですとかなり厳しく大変でしたが、最終的にこの支援を受けることができよかったと思っております。	・活動目的、お子さんの様子、保育士のかかわりについてご理解いただけるよう保護者の方に説明していくことは重要です。活動への取り組みを通してお子さんの成長を感じ、親子で喜びを感じたり、園での生活につなげていけるようお伝えしていきます。 ・保護者の方には、お仕事があるなか根気強く通っていただきありがとうございます。お子さんの成長を支え、満足していただけるよう今後も努力していきます。